



一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

編集人 市原 勝祐
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

大井在宅サービスセンターでサンバカーニバル開催



目次

- (一) 新年の挨拶 市原理事長
- (二) ～ (三) 新年の挨拶
常務理事・理事・監事
- (四) 書初め

- (五) ボランティア紹介 かもめ園
「彩・楽・健」給食紹介
品川区立心身障害者福祉会館
- (六) 豆知識 ボランティアの集い
紅葉まつりのご報告



理事長

いちはら かつすけ
市原 勝祐

皆様、明けましておめでとう
ございます。

お陰様で法人も開設から三十五年目の年を迎えることができました。事業規模も大きく成長いたしました。環境の変化に伴い事業の

形態も少しずつ変わってきております。

昨年は品川区障害者計画に基づく施策の一環として、障害者の地域生活を支える拠点整備のために児童学園改築と合わせ建設される障害児者総合支援施設の工事に伴い、平成十一年以来地元の皆様に愛され、継続してパンを提供してきた「プチレーブ」が、区のご理解とご支援のもと移転することになりました。

都内の数少ない就労継続支援A型事業所として障害者の社会的自立を促進し、地域生活を支援してきた事業を、今後も福祉工場として引き続き運営するため、現在四月オープンに向け準備を進めております。移転先は下神明駅から徒歩二分、区庁舎に近く、ヘリポートを備えた区防災広場として現在工事が進められている公園の真向いと大変便利な場所です。

今まで以上に多くの皆様にご利用いただき、就労支援事業がさらに発展するよう努力をしてまいります。今後ともご協力をいただけるようお願い申し上げます。



今年もよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうござ
います。

今年もご利用者の方々が一
年間安心して穏やかに過ごさ
れることを先ず祈念したいと
思います。

さて、今年は申（猿）年で
す。「猿の木登り、カニの横
ばい」という言い方がありま
す。自分の持ち味を生かすこ
とが大切ということです。社
会福祉法人の先行きについて
は不透明なところもあります
が、品川総合福祉センター職
員一人ひとりの持ち味や個性
を大切にしながら、法人一丸
となって、勇気をもって一歩
一歩着実に前進していきたい
と思います。

今年も関係者の皆様のご支
援をよろしくお願い致します。



たかくら としかず
鷹倉 俊和
常務理事

謹んで新春のご挨拶を申し
上げます。

昨年は、各地で猛暑や災害
等があり被害にあわれた方々
には、心からお見舞い申し上
げます。

私自身も、昨年思わぬこと
で高齢者施設のショートステ
イにお世話になりました。娘
が障害者施設でお世話になっ
ており、親子共々施設でお世
話になるなんて夢にも考えて
いませんでした。福祉施設で
働く職員さんの大変さを実際
に眼のあたりして、改めて地
域に根ざした施設の有難さに
深く感謝いたします。

本年も地域の皆様をはじめ
職員さん、ご利用者、関係者
の皆様が穏やかな日々であり
ます様、祈願いたします。



しまざき たえこ
島崎 妙子 理事

新年明けましておめでとう
ございます。

法人関係、利用者の皆様方
には、良き新年をお迎えになっ
た事とお慶び申し上げます。
福祉の環境も大きく変わり、

品川総合福祉センターも、そ
れを受けて今後益々、新たな
展開をしていくことになるう
かと思ひます。法人の経営改
革においても、理念や大切な
事項を整理再編させ、利用者
本位の必要な福祉サービス
提供すべく、理事長を柱に関
係者の皆様方には増々ご苦勞
の事と思いますが、頑張っ
て下さる様お願い申し上げます。

本年は皆様にとりまして幸
多き年になります様、心より
祈念いたしまして新年の挨拶
といたします。



たはら まさよし
田原 政義 理事



すずき としお 鈴木 敏夫 理事

新年明けましておめでとう
ございます。
皆様には素晴らしい新年を
迎えられたこととお喜び申し
上げます。
少子高齢化の時代となり、
福祉の世界も措置から契約へ
運営から経営へと、なかなか
厳しい時代に突入しています。
その中で、品川総合福祉セン
ターは、地域における福祉の
発展・充実のため、利用者サ
ビスの質の向上を目指してい
ます。これは、職員の皆様の
お力に依拠することとなりま
す。益々のご尽力にご期待申
し上げます。
今年も職員の皆様・利用者
及びご家族の皆様にとって、
健康で幸多き年になることを
願っています。



かとう ひさあき 加藤 久明 理事

新年のお慶びを申し上げます。
昨年中も計画通り事業を実
施することができました。中
でも「オレンジ（認知症）カ
フェ」は、当法人が擁する福
祉の専門職とそのノウハウを
地域の皆さんにより活用して
いただく地域開放事業として
実施しました。毎回多くの方
にご来場いただき、お茶を飲
みながら楽しく語らい、ちょっ
とためになる講座等を盛り込
みました。介護のご相談、介
護サービスのご紹介も行いま
した。この事業の嬉しい副産
物は、地域の自治会での介護
講座のお誘いが三件あったこ
とです。今年もオファアをお
待ちしています。本年も何卒
よろしくお願いいたします。



やました たかし 山下 隆 監事

明けましておめでとうござ
います。監事の山下隆です。
社会福祉法人品川総合福祉
センターは、法人理念に基づ
き「地域における福祉の発展・
充実」を使命とし、多様な福
祉課題に取り組んでおります。
当法人は、利用者が快適で
適切なサービスを受けられる
ように各施設が支援内容を改
善してきました。これは、職
員の努力があつての成果であ
ると思われまふ。
社会福祉事業の業務は社会
的に重要な意義をもつもので
あり、各施設の業務を担当さ
れる職員の皆様方には、深く
感謝をいたしております。
新年が皆様にとりまして良
い年であることを心からお祈
り申し上げます。



かつの たつみ 勝野 異 監事

新年おめでとうございます。
年頭に当たって、私は二つの
福祉の理念を思い起こします。
それは「人間の尊厳の尊重」
と「利用者の方々の自己実現」
です。
ご利用者と職員等が対等な
人間として互いに尊重し合い、
ご利用者が望む生き方を実現
できるように職員等が最大限
に支えるということです。
施設は、そのような理念を
実践する場であり、人の生き
方を考えさせ、人を磨き育む
大切な場であると思ひます。
本年も品川総合福祉センタ
ーにおいて、ご利用者・ご家族・
職員・関係者の皆様が益々ご
清祥でご活躍され、これらの
理念がより良く実践されます
ようお祈りいたします。

平成28年

申年 書初め



藤森様



相澤様



植松様



宮下様



下村様



豊永様



市川様



栗屋様



勝美様



斎藤様

サービスセンター
利用者作品です



ボランティア紹介 障害福祉サービスかもめ園

かもめ園知的部門でボランティアをやって下さっている横山麗子様をご紹介します。

かもめ園でボランティアを行うきっかけとなったのは、五年前に傾聴ボランティアの講習を受けに八潮本部にいらつしやった時です。その際、以前から知っている利用者が楽しそうに生活している様子をご覧になったそうです。

現在、毎週木曜日に行っている調理活動に参加し、利用

者の方々と一緒に、毎月の決まったテーマに沿った料理を作って頂いています。

この活動は三年目となり、利用者の方々の材料の洗い方や包丁の使い方が上手になったこと、「美味しい」「来週も来て」と声を掛けてくれることが嬉しく、今では大きな生きがいとなっているそうです。また、調理活動以外にも納涼会や遠足、クリスマス会等の施設行事にも参加して頂



「細く長く続けて行きたい」と横山様

き、利用者の方々との交流を深めてくださっています。「かもめ園の職員が利用者に優しく、心のこもった対応をしているのを見ると手伝いたくなる。これから健康に気を付けて細く長く続けていきたい」と話してくださ

しなふくの給食

「彩・楽・健」

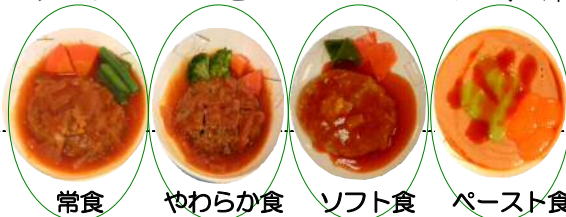
心身障害者福祉会館

心身障害者福祉会館では、安全で楽しく季節感のある給食作りに努めています。

安全に食べて頂く為

摂食指導医の指導の下、平成二十三年度よりソフト食・やわらか食を導入し、現在、常食・ペースト食を含む四つの形態で提供しています。新たな食形態導入で、よりお一人おひとりに合った食事提供ができるようになり、以前よりむせこみが減ってスムーズに食べて頂けるようになりました。

また、楽しく食事を食べて頂く為、月に二回のセレクトメニューやお誕生日食を設けています。セレクトメニューでは選ぶ楽しさを。お誕生日にはご希望のメニューにメッセージカードを添え、特別な日を



常食

やわらか食

ソフト食

ペースト食

と身体に元気に満たすお食事作りに取り組みます。これからも安全で楽しく季節感を大切にして、心



好きなメニューを選んでください

鏡餅

歳神様としがみさまを迎えるお正月。大切なことは収穫物をお供えすることです。そして神様に供える最高の収穫物が米であり、「鏡餅」を飾って感謝し、今年も無事に収穫ができるよう祈りを捧げる習慣となったそうです。

また、「鏡餅」には、家族一人ひとりの健康や幸福を祈願するという意味もあります。これは「身祝みいわいいの餅」と呼ばれるもので、昔、武家の男性は甲冑かっちゅうなどの武具を収納するつづらの上に、女性は鏡のあるところなど、その人が大切にしているものに鏡餅をお供えたと言われます。これを現代の生活に受け継ぐなら、お子さんの勉強机や書斎のデスクなど家族がそれぞれ大切にしているものや、いつも過ごす場所に小さい鏡餅をお供え

豆知識

し、その年の健康を祈願するといひのだそうです。

お正月の終わりを告げる「鏡開き」も元々、武家に伝えられた風習で、お餅を切らずに「開く」という言葉を使うのは、武家では刃物で切ることを忌み、餅は手や槌で割って「開く」といったのだそうです。「砕く」という言葉も縁起が悪いとして避け、「鏡開き」と言われるようになりました。

現在でも、柔道、剣道、空手などの道場では、新年の稽古始めを兼ねて鏡開きを行い、割った餅をおしるこにして師匠と弟子が食べるそうです。

師弟関係を緊密にする場として昔から今に受け継がれているのですね。



ボランティアの皆様と利用者と職員と
なごやかな会食のひと時

平成二十八年三月五日（土）ボランティアのつどいを開催いたします。当法人で活動してくださるボランティアの皆様に、利用者、利用者のご家族、職員から「ありがとう」のまごころを伝える会です。そして、ボランティア同士が知り合い、交流を深めていただきます。この機会にボランティアの輪を広げ、楽しいひと時をお過ごしください。

お知らせ

ボランティアのつどい

しなふく紅葉まつりの
ご報告

第十九回しなふく紅葉まつりを十月二十五日（日）たくさん地域の皆様に支えられ開催いたしました。ハロウィンの装飾やアトラクションを楽しんでいただき、東日本大震災への復興支援も引き続き呼びかけました。コンサートでは、濱野品川区長より、お祝いのお言葉を頂戴しました。ありがとうございました。

あとがき

明けましておめでとうございます。今年は申年。年賀状の切手をご覧になりましたか？十二年前は一ぴきだった猿の絵柄に新たに小猿が描かれています。そのことに気づいたかたはいらっしゃいますか？十二年後の絵柄はどうなるのでしょうか。楽しみです。本年もよろしくおねがいします。（おおがし）